

5月 2日 | 更なる発展を茶祖に祈念

八十八夜のこの日、茶祖・栄西えいさいぜんじ禅師の立像がある牧之原公園で、茶業振興を祈願する「茶感謝祭」が開かれました。

茶業関係者ら約80人が出席し、代表者が祭壇に新茶を供え、禅師の遺徳しのを偲びました。式典後には、金谷茶娘大使と五和幼稚園の年長女兒が、かすりの着物にあかねだすき姿で登場。「ちゃっきり節」と「金谷音頭」の2曲を笑顔で踊り、会場の雰囲気盛り上げました。



5月 8日 | 看護の道への決意を新たに

看護専門学校で、生徒が看護師としての飛躍を誓う「看護を語る会」が開催されました。

基礎学習を終えた2年生38人が「私の目指す看護」をテーマに、看護師への決意を発表。続いて、壇上のナイチンゲール像から自分の持つろうそくに採火し「確かな知識と技術を身に付け、日々努力します」と誓いの言葉を唱和しました。この日は、現役看護師との意見交換も行われました。

5月 28日 | 元気いっぱい「しこ」踏んで

第三保育園の園庭で「こどもの日」にちなんだ「すもう大会」が繰り広げられました。

参加した2歳児以上の64人の園児たちは、自慢の四股名しこなを呼ばれ、気合いの表情で土俵へ。行司の掛け声で力一杯ぶつかり合うと、一瞬で決まる取組や互いに貼り合う取組など、本場の大相撲に負けにくい真剣な勝負に奮闘しました。





5月18日 | 日頃の練習成果を披露

「交通安全子供自転車島田地区大会」が、総合スポーツセンター「ローズアリーナ」で開かれました。

島田警察署管内の小学校9校から、今年は団体の部に11チーム、個人の部に61人が参加。実技試験や学科試験をとおして、安全走行の技術と交通ルールの知識を競いました。実技に参加した児童たちは、安全を確認しながら慎重に自転車を運転しました。

5月22日 | 小さな訪問者を笑顔で歓迎

県動物保護協会志太支部が、特別養護老人ホーム「あすか」で、動物ふれあい訪問活動を行いました。

動物と触れ合う機会が少ない利用者に、犬との楽しい時間を過ごしてもらおうと、協会の登録ボランティアとチワワやトイプードルなど9匹が訪問。犬に触れた25人のお年寄りたちは、普段見せないような笑顔で喜び、一緒に記念写真を撮るなどして、小さな訪問者を歓迎しました。



5月15日 | 仕事の厳しさと働く喜びを学習

六合中学校と初倉中学校で「職場体験学習」が実施されました。島田消防署には2年生各4人が配属。消防署の業務を、3日間にわたって模擬体験しました。

進路学習の一環で、働くことの意義や、社会人としてのマナーやルールを学ぶことが目的。この日、生徒たちは消防服を着て放水するまでの時間を学校対抗で競争。消防士のたくましさや、日々の訓練の重要性を体験しました。